

会議録

会議の名称	令和3年度第8回新城市市長選挙立候補予定者公開政策 討論会実行委員会
開催日時	令和3年8月25日（水）午後7時00分から
開催場所	新城市役所本庁舎3階災害対策本部室2（オンライン会 議）
会議の次第	1 あいさつ 2 検討 （1）説明会の反省について （2）討論テーマ等について 3 その他
欠席委員	新田委員 遠山委員

1 あいさつ

委員長及び事務局から簡単なあいさつがされた。

2 検討

(1) 説明会の反省について

委員長	説明会の良かった点、良くなかった点について、4年後に向けてまとめたいと思います。いかがでしたか。
事務局	次の日に電話で追加質問を受けました。Z o o m環境のない方は推薦委員にはなれないのか、推薦委員に謝礼があるのかという2点です。 前者については、Z o o m環境は必須ではなく、必要に応じて市の部屋・パソコンで対応ができるということ、後者については、謝礼はないということで回答をしています。そこから、謝礼がないことについては説明会で話をしておいた方が良かったと思いました。
委員長	ちなみにマスコミの反応はありましたか。
事務局	ありませんでした。
委員	今回参加された陣営が1組でしたので、説明会の情報が届いていなかったということはあるのでしょうか。
委員	今回参加された方は、表明されている方なので分かりますが、不意打ちで知らない方が来られた場合に立候補予定者の把握はできるのでしょうか。加えて、委員の謝礼はないということですが、明文化してはどうでしょうか。
事務局	今回、傍聴者と立候補予定者及びその支援者で受付を別にして、後者については立候補予定者名と支援者名を記載してもらうように受付簿を作成しましたので、その記載で把握できるよう準備をしていました。 明文化については、4年後に向けて規則、要綱等を整理したいと思います。
委員	推薦委員は、陣営から来ていますので謝礼は必要ないと思います。一般委員もそれと統一する形で必要ないとする整理が良いと思

	います。
委員	推薦委員も誓約書を提出することになるので、公平・公正が必要で、一般委員とその意味で同様だと思います。
委員	どちらの考え方もあると思います。
委員長	ほかにはいかがでしょうか。
委員	実行委員会は受け身ですが、市民のためには対抗する立候補予定者がいて色々な意見があると良いと思いますが、私たちからその方たちに参加を促すように接触していくべきなのでしょうか。メディアにも1組でしたとお知らせして反応を促すべきなのか、どうでしょうか。
委員長	噂レベルの人に案内ができるのかというのはあります。少し前の意見に関することですが、説明会の開催の情報を立候補予定者が把握していないということであれば、それは立候補予定者としてどうなんだろうということはあると思います。広報紙、ティーズでも広報はしていましたし、あとは新聞の活用ができればもっと良かったように思います。
委員	積極的な接触は、出ることを強いるような感じがするので受け身しかないと思います。広報するしかないですね。
委員	説明の要点は決まっているかと思います。市民自治会議で答申が出た段階で、説明会の内容もチェックしてもらって説明資料をホームページに載せてしまうよう準備をしても良いと思います。 当日の一通りの説明だけでは把握しきれないと思うので、立候補予定者に、事前にしっかりと読んできてもらって、分からないところは説明会で質問してもらおうとするのも1つの方法かと思います。
委員長	確かに、多くとも3組、4組ですので説明会なしで個々に確認ということもありえるのかなと思います。終了後、参加した立候補予定者の方に感想を聞いてみて判断することもありかと思います。
事務局	今回の公開政策討論会で色々な事務の土台ができていくので、先手先手で準備していくことができると思います。

委員	委員のところに机がなかったので、あった方が良かったです。
事務局	今回は、コロナ禍ということで距離をとってというのが難しく て。レイアウトについては、次回への課題とさせていただきます。
委員長	そうですね。今回はコロナ禍でしたので、次回への課題としてく ださい。
委員	4年後も市役所の4階会議室ですか。例えば文化会館の会議室を 利用すればもう少し格好がつくと思います。
委員長	柔軟に考えましょう。ほかにはいかがでしょうか。 では、もし思いついたことがありましたら、事務局の方に伝えて ください。

(2) 討論テーマ等について

委員長	<p>現在の状況について整理したいと思います。</p> <p>表明・説明会への参加は、1陣営しかありませんでしたので、9月2日の段階での参加申出は1人のみということが想定されますが、9月25日までは参加の申出ができますので、討論方法については1人の場合に加えて2人、3人の場合を検討しておく必要があります。</p> <p>討論テーマについては、別の立候補予定者が提案をしてくる場合にはそれらを踏まえて検討ということになりますが、1人のみであった場合には、提案を尊重するという条例になっていますが、立候補予定者の了承を得て市民の声の大きかった分野を採用するということもあり得ます。</p> <p>色々なパターンがあり得ますので、難しい状況に置かれていると思います。</p> <p>1番の問題は討論方法で、1人だった場合にどうするかということです。加えて、その場合に3回の開催が適切なのかは悩ましいところですが、1回に凝縮してしまうのも1つの方法かなと思います。</p>
事務局	9月25日までは参加の申出ができますので、実行委員会としては、3回を想定して準備をする必要はありますが、最終的に1人だ

	<p>った場合には、その方の意思次第です。参加申出書には、参加する日を記載する部分がありますが、それはホームページに掲載されますので、立候補予定者としては後になって1日しか参加しませんとはしにくい状況にあります。その場合の対策としては、参加申出書に1人だった場合には1会場のみとする注意事項・備考を記載してもらおうくらいでしょうか。結局は、立候補予定者次第です。</p>
委員	<p>立候補予定者によって開催が左右されるべきではないと思います。実行委員会で検討して市民自治会議の答申を経て3回として周知したものですので。</p>
事務局	<p>開催の可否については、立候補予定者次第なのは制度上やむを得ないです。</p>
委員	<p>実行委員会としては、3回開催できるよう準備をしてきましたので、1回になる場合には立候補予定者の意向で1回にしますと広報をしていただかないと私たち実行委員会の立場がありません。</p>
事務局	<p>9月25日にならないと確定できませんので、中止する日程がある場合には防災行政無線で広報することになりますが、その放送の内容として参加がなかったため中止します等今いただいた御意見を放送の内容に反映させたいと思います。</p>
委員	<p>もし参加しないとなると立候補予定者のダメージになります。ですので、3回とも参加してもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>形式的には、参加するかを選択は立候補予定者次第です。</p>
委員長	<p>3回開催するかどうかについては、当然立候補予定者の意思は確認しますが、そこだけに委ねるのではなく主導権は実行委員会が持つべきだと思います。2人以上の参加が本来の想定としてはありましたが、今回は残念なこともあり得る状況になってきました。その場合に、現在の開催予定が市民に分かりやすく立候補予定者の政策や人柄を伝えるのに適切なのかということを考える必要があると思います。今までの検討過程がありますので、その手続を考えると適当なのかということはあると思いますが。</p>

	<p>2人以上が参加をして討論がなされる想定で準備をしてきたにもかかわらず1人だけだったという場合に、どういう開催がふさわしいのかということを実行委員会で諮って立候補予定者が承認したときに変えられると思っています。間延びする3会場よりも要点をまとめた1会場の方が良いのではないかと皆が合意するのであれば、その可能性はあると思います。</p> <p>1人の場合には、討論テーマ、方法をしっかりと詰めないと立候補予定者の政策等が伝わらないという不安はあります。</p>
委員	<p>会場を1つにしてしまうと各地区で直接見てもらうことができなくなります。間延びすることについては、1回当たりの時間を短くしての対応ができるので、3会場での実施が良いと思います。</p>
委員長	<p>3会場の趣旨はそのとおりだと思います。私も3会場をやめて良いのかは分かりません。ただ、短く3回が良いのか1会場長時間が良いのか、ということだと思います。</p>
委員	<p>私も同じ意見です。1人と分かった時点で、立候補予定者の政策や市の課題を市民に伝える討論会に実行委員会もシフトした方が良いと思います。課題等地域を知るきっかけにできるように実行委員会と立候補予定者で公開政策討論会を行えば、委員の實りにもなりますし、参加者の気づきになると思います。3会場も必要だと思いますし、アーカイブで残るため行けなかった人も見るできるので、切り換えて進めたら良いと思います。</p>
委員長	<p>結論はまだ出せませんが、この状況ですので、色々なことを考えながら、市民にとって、まちにとってより良い方法を模索していくしかないかなと思います。</p> <p>ほかに御意見ありますか。アンケートの内容はどうか。</p>
委員	<p>集計結果は公表しますか。</p>
事務局	<p>一般に公開することはありません。討論テーマ等の参考に利用するのみです。</p>
委員	<p>クロス集計を見ると医療・健康が1番多く、人口が2番目、子育て</p>

	<p>てが3番目ということで、自由記述を読み込むと医療・健康は大きく分けると2つかなと思いました。1つは市民病院を中心とする救急に関係するもの、もう1つは出産に関するもので、これは人口や子育てにも関係しますが、これらがテーマになりうると思いました。</p>
委員	<p>医療・健康が最も多いという結果は出ていますが、高齢者世代と子育て世代の双方の意見がアンケート結果に出ています。医療・健康に限らず色々なところで出ているので、壮年・高年の方への政策、青少年や子育て世代に対する政策と1つのテーマに対して色々な世代の方に訴えかけられるような前提条件を設けてはどうかかなと思いました。</p>
委員長	<p>いくつかテーマを選ぶ中で、例えばあと1つのテーマを選ぶとなったときに、どの世代のテーマを選ぶかは実行委員会から市民に対する投げかけになると認識しています。実行委員会として、誰に聞いてほしいとするのか、というのが推薦委員が入ってからの、どこに向けていくのかというのが今年の姿勢になるのかなと思います。</p>
委員	<p>市が何かをしようと思ったときに全てに関連するのは税財政ですので、それが無いのに政策を言われても困ります。ですので、そういったところを考えてもらいたいと思います。ですので、私は税財政を必ず入れていただきたいです。</p>
委員長	<p>東栄町の選挙がまさにそれでしたね。コロナ対策で市の財政も良くないと思いますし、今年らしいテーマかと思います。</p> <p>人口、医療・健康が多いという点でいうと、市民病院の産婦人科や出産の環境等がよく言われていましたが、最近はあまり言われなくなっている気がします。ただ市民の間では根強いかなと思います。</p>
事務局	<p>集計していて目に付いたのですが、10代のアンケート回答者が5人いて、そのうち4人が空き家を選択しています。</p>
委員	<p>私も気になっていました。</p>

委員	今日のニュースで空き家のD I Yが取り上げられていました。そういうマスコミの影響があるのかなと思います。
委員	ワーケーションという言葉聞くようになりましたが、現役世代しか関係ないというわけではなく、Y o u T u b eやSNSを通じて子どももD I Yやスローライフ、ユーチューバーなど遠隔地で仕事ができることもあるので、住む場所にとらわれないという考え方がある程度浸透しているのかなと思います。それとマスメディアの影響かなと思います。 先日、学生と話をする機会がありましたが、人口に対する意見が多かったです。人が住むというところに興味があったようなので、そういう考えが浸透しつつあるのかなと思いました。
委員	最近、近所の空き家に外国人の方が入られました。農地と山林も一緒に購入したようです。空き家を売買しようと思うと田舎は農地がくっついてきますので、関連したものとして考える必要があると思います。
委員長	ほかにありますか。 では今日の検討は終了します。

3 その他

(1) ティーズでの広報

9月14日(火)午後2時30分からの撮影で、生田委員が行うこととなった。

(2) 次回の日程

ア 日時 9月7日(火)午後7時00分から

イ 場所 市役所本庁舎4階会議室

閉会